

これまでに約 7,000 世帯、対象地域の 75%を訪問

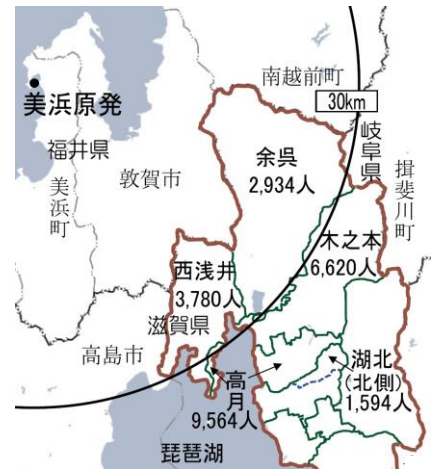
避難先が甲賀市、東近江市、草津市であることを知っている人はほとんどいない  
「原発から近いので反対」「琵琶湖も余呉川も汚染される。農業もできなくなる」  
「冬は雪で避難できない」「市長に会って話してみる」

2022. 7. 24 避難計画を案ずる関西連絡会

◆美浜 3 号の運転再開を止めるため、長浜市 U P Z 圏を戸別訪問。75%の世帯を訪問

- ・対象地域：長浜市 U P Z 圏 9,390 世帯（西浅井町 余呉町 木之本町 高月町 湖北町の北側）
- ・回った世帯数：約 7,090 世帯（75%。残り約 2,300 世帯）  
西浅井町 706/1,401 余呉町 1,202/1,202 木之本町 2,319/2,777  
高月町 2,862/3,455 湖北町 0/555
- ・延べ実施回数：15 回 期間：2021 年 10 月 24 日～12 月 3 日、2022 年 5 月 10 日～7 月 16 日
- ・延べ参加人数：滋賀、大阪、兵庫、京都、福井から 101 人。湖北原発ゼロの会の皆さんに協力いただいている。

美浜原発事故時の避難対象地域  
滋賀県長浜市 約 24,500 名



【特徴】

◆ほとんどの人が、避難先市町も知らない

- ・県内避難先が東近江市、草津市、甲賀市であること、県外避難先が大阪府南部の市町と知っている人はほぼ皆無。県外避難先については、地名を聞いてもそこがどこにあるのかさえ知らない人もいる。長浜市がいまだ避難所を公表していないことには驚きや怒りを示される。
- ・美浜 3 号の運転再開が当初の 10 月から 8 月に早まったことを、ほとんどの人が知らない。

◆原発から近いため、反対とはっきり語る人、不安を持っている人が多い

- 原発は怖い。ここは近い。何かあったらどうすることもできないので反対。
- 原発は絶対反対。できるだけ早く原発を止めるべき。

◆事故時に避難できない深刻な実態がある

- 冬場は雪が多くて、国道 8 号線に出ることも難しい。自分で動けない人も多い限界集落に近い状態で、避難なんか無理。うちにも障がいを持った家族がいる。福祉車両は足りるわけがない。
- 雪が降ると身動きできない。雪が無くても逃げられると思えない。
- ここは逃げるにしても一本道で、この辺の集落だけでも車が 100 台くらいはある。南に逃げると言われても、国道 8 号線も木之本辺りから渋滞になって逃げられない。
- 橋脚に流れてきた木が当たったら橋が落ちて渡れへんようになる。ここから少し下がったところは土砂崩れが 2 回起きてる。避難言うても公民館止まりになる。
- 年寄りばかりで、避難できない。
- 寝たきりの家族がいるので、避難などできない。
- （高齢で半身が不自由な人）こんな体やから、逃げるのは難しい。
- （ダイサービスの若い職員の人に、県等の方針では、事故時には、施設通所者はいったん家に帰ってもらうことになっていると話すと）知りませんでした。でもそれはできない。
- 避難開始時点で汚染されているから受け入れ拒否される。タイヤの除染は簡単にできないから。

- どこまで行ったかてあかん。琵琶湖があるからすーっと飛んできよる。
- 屋内退避と言うが、その後、避難になった時、放射能まみれの車に乗るなんて無理。

#### ◆琵琶湖の汚染に反対、余呉川の清流を守りたいとの声

- 住民が避難しても、琵琶湖は避難できず汚染される。大阪、京都の人も水が飲めなくなる。
- ここは自然がきれいなところ。きれいな余呉川と水路がある。自然を汚したら元に戻せない。
- 琵琶湖も余呉川も汚染されてしまう。農業もできなくなる。

#### ◆市長や市に話してみるとの声や、チラシを広めてくれる人も

- 避難先のこと安定ヨウ素剤のことも、一回も聞いたことない。市長に会って話をしてみる。住民の安全を守るための大事な内容や。(知り合いに配るからとチラシも5枚程受け取ってもらえた)
- 大合併で長浜市は大きくなり、中心部ばかりにカネを使っている。地区の生活改善に取り組んで市に申入れもしている。避難所を公開するよう市に求める。公開になったら連絡してあげる。
- 避難のことはみんなが知っとかないといけない。次の自治会の集まりで話し合ってみる。
- 道の駅に野菜を出しに行くから、チラシも一緒に置いてあげる。

#### \*戸別訪問で聴いた住民の皆さんの声

避難の問題だけでなく、事前了解の権限、核のゴミ、汚染水海洋放出、エネルギー、国の責任を認めなかった原発賠償訴訟の最高裁判決のこと等々、いろんな話題が出てきます。

- 避難のことを聞きたかった。何も知らない。福島で避難した地域は何kmまで？やっぱりここも入る。私たちの避難所は？避難ルートは？この辺は道が狭い。高速道路など使えない。集合する場所もない。(チラシをお店においてもらえました)
- 土砂災害の一般的な避難訓練はしたが、原発事故の避難の準備等はしていない。上の者に(チラシを)渡して話してみます。(知的障がい者の施設職員との話)
- 80になって逃げろと言われても、知らん土地で生活できない。夫婦で残ると決めている。
- 原発に反対です。心配で敦賀の薬局で購入した安定ヨウ素剤を東京に住む子に送った。美浜から来ている魚屋から「事故が起きたら外に出たらダメ」と言われたが、(屋内退避中に)放射能まみれになった車には乗れない。原発推進に方向転換した維新は許せない。
- 「40年運転」と国が決めておいて、それを破って運転するのはおかしい。
- 滋賀県は被害だけ。再稼働の決定権がないのはおかしい。
- 廃棄物の処分方法もないし、国も責任を取らない
- 市か関電の人が説明会を開くというので行ったが、話を聞いてもさっぱり理解できなかった。説明するなら私らに分かるようにしてほしい。危ない原発は早くやめなあかん。
- 原発は危ないけど、電気は必要やろ。電気が足りないのと違う？
- 動いてくれた方が、電気代が安くなる。正直、事故があったら怖い。代わるエネルギーがあれば。
- 最近ロシアからのエネルギー依存を減らすと言って、原発を動かそうとしているが、自然エネルギーのことを考えるべき。
- ウクライナを見ていると、原発が攻撃されたらどうすることもできない。自衛隊でも防げない。
- 最高裁判決はひどかった。国が補償しないと。福島の人たちは何もかも無くしたのに。
- 除染は不可能。畑や家の周りの除染もわずかな面積を残しただけで大量のフレコンバックになる。行政や議員は、教育等の課題はやるが、原発のことをしっかり考えてくれる人がいない。
- 市はやる気がない。土砂災害危険区域だが、道も無い。目の前の川があふれ、全く逃げ場がないと訴えても、何もしない。
- (チラシを見て連絡先に電話くださった人と話して)原発はやめた方がよいことがよく分かった。